



第 43 号
発行所
関高等学校同窓会
岐阜県関市桜ヶ丘 2-1-1
郵便番号 501-3903
電話 (0575) 22 - 5688
FAX (0575) 23 - 7089

校訓
進 取
至 誠
鍊 磨

平成23年度関高等学校幹事会開催される

書記 浅野登代子 (高10回生)

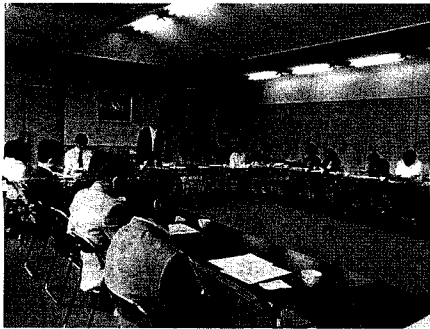
去る5月14日、新緑の風薫る彩雲館大研修室において幹事会が開催されました。

まず、杉浦孝志会長から、「今年度は関高等学校創立90周年という記念すべき年になります。皆様方のご協力をお願いしたい。」と挨拶がありました。続いて90周年実行委員会長の加藤隆志さんが「肅々と記念事業を進めていきたい。」と抱負を述べられました。

学校側からは、進学において国公立大学へ153人が合格し成果を上げていること、旧来の老朽化した部室が解体され、新しく建てられた部室を「至誠館」と名付けたことなどが報告されました。

その後、審議事項に移り、平成22年度事業報告と会計報告、平成23年度事業計画案と予算案が審議され、満場一致で承認可決されました。

議事後、江崎章東京支部長



総会風景

が「東京支部総会を6月に予定していたが、3月11日に発生した東日本大震災の余震が続いており生活環境が不安定なこと等を考慮し今年度は中止する。」と報告されました。吉田徹岐阜支部長から、9月25日の岐阜支部総会(隔年開催)について話がありました。

未曾有の大震災復興に国民が全力を注いでいる中、創立90周年記念事業が盛会に開催されることを念じております。

学校長挨拶



学校長 鬼頭 靖尚

東日本の大震災につきまして、関東8都県に所属される東京支部同窓会の皆様方、また、東北地方、特に、被災地域にご在住の同窓生の皆様方には、ご無事でお過ごしでしょうか。ご不便やご苦労に対し、謹んでお見舞い申し上げます。

関高ではOBと生徒会がいち早く協同し、校内や地元のスパー、コンビニなどを拠点として義援金を呼びかけてくれました。結果、3月中旬までに90万円以上が集められ、日本赤十字社県支部へ届けることができました。お役に立てたことと自負しております。

このところ関高では、嬉しいことが相次いでおります。国公立大学の合格者数が、念願の150人をクリアし、153

人の実績となりました。3月には旧部室の跡地に新しいクラブハウス「至誠館」が完成しました。清潔で快適な環境となりました。また、4月末、伝統の第61回強歩大会に合わせて、新たに「関高キヤップ・関高タオル」を作成し、生徒も職員もすべてこれを着用して大会に臨みました。関高の一員であるという自覚、スクールアイデンティティを一層高めることができました。また、近年の交通事情の悪化等を考慮し、見直しを図り、従来の美濃加茂コースを元に、男女共32キロ余りの行程といたしました。これにより、絶対安全安心で、

生徒たちの完走度の極めて高い大会となりました。さて、いよいよ本年11月5日に、関高創立90周年記念式典を挙行します。実行委員長に前関市商工会議所会頭の加藤隆志さんをお迎えし、杉浦孝志同窓会長、土本恭正PTA会長共々、力を合わせて、心に残る記念事業を展開したいと考えております。また、記念講演は、関高33回生、現在東京大学数理解析学研究室准教授の細野忍先生を予定しております。万端、よろしくお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

岐阜支部 第5回 総会のお知らせ

岐阜支部第5回総会及び懇親会を下記のとおり開催いたします。

岐阜地域及び西濃地域にご在住または勤務されておられます卒業生の皆様には、卒業年次にかかわらず、多数の皆様のご出席を心よりお待ちしております。

記

日時 平成23年9月25日(日)
午前11時より(受付 午前10時30分から)

場所 岐阜グランドホテル
電話 058(233)1111

会費(懇親会費) 1万円

申込・問い合わせ先

①岐阜支部事務局 吉田 徹(高11回生)
058(233)2157

②学年当番幹事代表 第15回生 後藤政輝
058(229)1367

第16回生 加藤勝之
058(237)7220

東日本大震災支援活動に参加して

陸前高田市における支援活動を終えて

関市保健センター保健師 中島 好子(高28回生)

去る3月22日から27日まで、岩手県陸前高田市へ岐阜県保健師チームの第3班として被災地支援に参加してきました。同市は、人口2万3千人余り、高齢化率は34パーセント(平成21資料)で、今回の震災で、市街地の86パーセントが被災し、行政の中心である市役所も被災し、職員の4分の1も死亡されている状況でした。岐阜県チームは、県と各市町村から保健師各1人と県事務職(男性)1人の計3人で、5泊6日の活動を行ってきました。主に、避難所での生活の安定化と、医療が必要な方への支援を目的に活動してきました。



自衛隊の給水車

所が縮小され仮設住宅への入居がすすんでいると聞いております。一刻も早くライフラインが回復し、被災地の皆さんが以前のような日常生活を過ごしていけるようになることを願っております。

Pray for Japan 活動

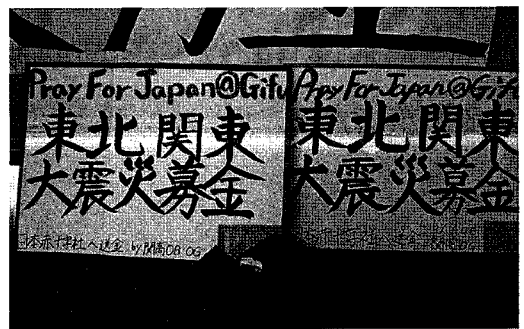
～自分たちにできることをやろう～

名古屋大学法学部 岡本 直也(高63回生)

はじめに、この度の東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地の一刻も早い復興をお祈りいたします。

私は、地震が発生してから途切れることなく報道される被災地の惨状を見て、強い悲しみを覚えると同時に、漠然と「何かやらないか」と思っていました。そこへ友人から「自分たちにできることをやろう」と連絡をもらい、「Pray for Japan@Gifu」(日本のために祈る)の活動に実行委員として参加することとなりました。

募金活動を通してまず感じたことは、人の温かさです。お店に入るとき募金してくださった方がお店を出るときにも協力し



募金活動

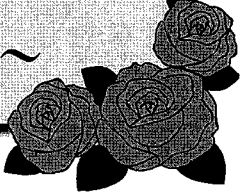
てくださいました。また、「他でもしたから少ないけど…」と言って募金をしてくださった方もいらっしゃり、温かい気持ちを肌で感じました。その一方で、活動への参加人数が増えるにつれ連絡がうまく行き渡らなかつたり、予定を急遽変更せざるを得なくなつたりと社会でいざ行動を起こすことの難儀さも感じました。これらのことは自分が募金活動をするという立場に立つたからこそ学べたのであり、それゆえ貴重な体験をすることができたのだと考えています。

最後になりましたが当団体の活動へ参加・協力してくださつたすべての皆様、いろいろとご迷惑をおかけした点もあつたと思いますが、最後までご支援いただきありがとうございます。



平成23年度 芸術鑑賞開催

～ナポレオンズさんをお招きして～



去る6月23日、関市文化会館において芸術鑑賞が開催されました。今年創立90周年という記念すべき年であるということで、ナポレオンズさんをお招きしてマジックショーと講演を行いました。ナポレオンズのバルト小石さんは本校の卒業生(高23回生)です。そこで今回の芸術鑑賞では、マジックを披露していただきながらご自身の経験や被災地を慰問されたときのお話を聞かせていただきました。

芸術鑑賞を見て

渡辺 夕里菜 (本校3年5組)

今年の芸術鑑賞では、ナポレオンズさんのマジックショーを見させていただきました。マジックと言えば、一瞬にして無くなったはずのものを元に戻したり、持っていないお金を増やしたりと、とても不思議でまるで夢のようなもの。しかし、どんなマジックにも必ず仕掛けがあり、「うまい話には必ず裏がある。」という

人生の教訓

を、タネ明かしを通して教えていただきました。また、ショーの間には震災により被害を受けた東北地方へマジックショーに出かけたときの体験なども話していただき、そのお話に胸が痛みました。避難所ではほんの片隅がステージになっており、実際に東北地方に出かけて受ける衝撃は大きかったとお聞きしました。私たちが被害にあわれた方たちのために何かできることを必死に考える機会を与えてくださいました。「被災者の方々にマジックで笑顔を届ける」という務めを果たしていらっしゃるナポレオンズさんに尊敬の念を抱きました。私たちも今回の芸術鑑賞でいただいた笑顔を源に、頑張らなくてはと痛感させられました。ありがとうございました。

「バルト小石さんプロフィール」
 本名：小石至誠 (こいししせい)
 本校第23回生。専修大学卒。専修大学のマジック同好会でボナ植木さんと知り合いコンビを結成。1977年にマジックナポレオンズとしてデビューした。「地球が僕らのステージだ！」をキャッチコピーに掲げており、その言葉どおりアジアやアメリカなど海外でも活躍している。また小石至誠の名で本も多く出版している。



関高キヤップ・関高タオル作成の報告



4月27日に開催された第61回強歩大会にあわせて「関高キヤップ・関高タオル」を作成しました。キヤップ・タオルともに「Seiko」と書かれており、さらにタオルには青と緑で校章も描かれています。90周年記念事業のひとつとして行われました航空写真撮影でも関高キヤップを着用して臨みました。さまざまな行事や部活動の試合などで着用し、関高の一員としての自覚を持って臨んでいきます。

関高校90周年記念 第3回 関高校OB美術展 出展者募集

同窓生の芸術を古民家で

本年、関高校は創立90周年を迎えます。90周年の機運を盛り上げていくため、昨年度に引き続き、卒業生同士の交流親睦等を目的とした美術展を開催します。今年は、出品者を卒業生の皆さまから広く公募いたします。

日 時：平成23年10月30日(日)～11月6日(日)午前10時～午後5時
 ※最終日は午後4時まで

出品部門：絵画、書、写真、陶芸、彫刻、デザイン
 ※出品は、この部門の作品をお願いします。

出品料：4,000円

出品条件：・関高校の卒業生であること
 ・オリジナルの作品であること
 ・おおむね3年以内の作品であること
 ・岐阜県内在住の方は、期間中の会場当番をお願いすること(1回程度)

お申込み：出品申し込み用紙をお送りします。まずは事務局までお問合せください。

場 所：多目的空間 古民家 山麓(関市本町7-13)

主 催：関高校OB美術展実行委員会 会長 石原通男

後 援：岐阜県立関高校同窓会

問合せ Tel/Fax:050-3447-1161

(関高校OB美術展事務局せき・まちづくりNPOぶうめらん内)
 多目的空間 古民家 山麓とは…本町7丁目、虎屋さんの正面に位置する築122年の町の歴史を見続けてきた古民家です。関信用金庫発祥の地でもあり、当時の面影を今に伝えています。

夢を志望に、志望を現実にも！ 卒業生の進路状況

22年度の進路実績としては、国公立大への合格者数が現役生・過年度生含めて153人に達したことが特筆されます。また現役生の国公立大合格率は過去3年間では最高で、42.9%に達しました。個々の大学別にみると、京都大学5人を筆頭に東北、お茶の水女子、東京工業、名古屋、大阪、九州、岐阜大医学部医学科等の難関大に合格者が出了たほか、人気の高い地元の岐阜大や愛知県内の国公立大での健闘ぶりが注目されます。特に岐阜大学の40人は、過去5年間で最高の実績となりました。私大入試においても、早稲田(10)、東京理科大学(11)、同志社(33)、立命館(87)、南山(51)等、難関大合格者が多数出ました。

卒業年度	22	21	20	19
卒業生数	312	316	316	315
国公立大学	153	140	145	150
私立大学	668	653	729	545
東京大学	0	0	3	0
京都大学	5	5	5	5
名古屋大学	15	15	20	21
大阪大学	3	2	2	6
岐阜大学	40	25	32	20
早稲田大学	10	16	4	17
南山大学	51	40	42	37
名城大学	41	41	54	36
立命館大学	88	66	93	44
同志社大学	33	43	35	24

※合格者の多い大学のみ掲載しました。

お詫びと訂正

前号(第42号)の特集記事「関町行進曲」に誤りがありましたので、お詫びとともに、訂正させていただきます。

その1
文中登場する「製紙」はすべて「製糸」の間違いです。その2
文中登場する「惟然」(広瀬惟然)を、「松尾芭蕉の弟子の各務支考の弟子」としましたが、完全な誤りです。広瀬惟然は関の出身で、1689年、芭蕉が美濃を訪ねた際に入門しました。一方の各務支考も芭蕉の弟子で、美濃派を組織した俳人として知られます。

ご意見をお寄せくださいました読者の方々に感謝いたします。



第63回生(平成23年3月卒業) 同窓会クラス幹事

学年幹事	8組	7組	6組	5組	4組	3組	2組	1組
二村 康太	丹羽 沙織	足立 裕紀	遠藤 裕貴	船坂 侑紀	石原 拓哉	並原 夢華	各務 文乃	土屋 武乃
古田 彩乃	山田 采伽	山村 太一	山田 知史	佐藤 恵美里	佐田 知史	佐田 知史	佐田 知史	佐田 知史

平成23年度 同窓職員異動

【退職】
教諭(英語) 早川佐知子(高21回)
【転入】
常勤講師(国語) 鈴木めぐみ(高59回)

おくやみ

近藤 紀公先生(高11)
昭和53年から63年まで英語教諭として勤務されました。
ご冥福をお祈りします。

平成23年度役員紹介

会長	杉浦 孝志(高19回)
副会長	長村 富子(女25回)
	後藤 房(女25回)
	加藤 洋子(高13回)
	井上 博文(高16回)
	伊佐地正克(高17回)
	藤井 市三(高19回)
	清水 俊夫(高20回)
	堀部 哲夫(高21回)
	鈴木 良春(高22回)
	筒田 義和(高23回)
	丹羽 克彦(高24回)
	佐藤 敏則(高27回)
	浅野 欽一郎(高29回)
書記	浅野 登代子(高10回)
	山田 正樹(高24回)
会計	武藤 玲子(高13回)
	神谷 泰久(高21回)
会計監査	坂井 寛司(高20回)
	伊佐地 秀一(高21回)
会報委員長	樺山 舜亮(高14回)
会報委員	梅田 洋子(高11回)
	高井 奈津子(高14回)
	野中 歌子(高15回)
	平田 和子(高16回)
	池村 洋子(高18回)
	黒野 理津子(高38回)
	長尾 歩(高40回)

事務局だより

▼転居などにより、会員の皆様へのご連絡や「桜ヶ丘だより」のご送付に支障が生じております。つきましては、各学年の幹事の皆様や、会員の皆様ご本人からの情報を事務局までお知らせ頂けると幸いに存じます。何とぞよろしくお願い致します。

▼同窓会開催の折には、事務局までお知らせください。補助金を援助しております。

▼事務局では会報掲載用の原稿を募集しております。同窓会役員の皆様のご活躍の様子や、同窓会での交歓のひとつときなどの記事をお写真とともにお寄せください。(お写真は返送いたしません)

▼今年度は会費の納入はございません。不審な勧誘・問い合わせにはくれぐれもご注意ください。

